

自然遊学館 だより

1999秋号 (No. 18)

1999. 11. 11

和泉葛城山頂灯火採集

1999年度 第一回 (5月15日)

1999年5月から毎月1回、葛城山の山頂で灯火採集をすることが計画され、今回はその第1回目5月15日のものである。天候は幾分かすみのかった晴で、夕暮れ前の一時、新緑の林にこだまするウグイス、アカハラ、ツツドリ、アオジのさえずりに聞き惚れる。最初の収穫は沢田君の、ブナ倒木上で採ったコルリクワガタの1♂であった。トラップの設置場所は頂上から少し北側に下った所にある小屋に接して、風向きの関係で岸和田側に向かって幕を張る。気温は午後7時に18℃、9時には17℃で、風も微風で好適条件下。春ものの

名残のケンモンキリガ、キンイロキリガの傷んだ個体がかかり飛来。このほかエグリツマエダシヤク、ナカウスエダシヤク、ルリモンエダシヤク、オオバコヤガ、コウスチャヤガの飛来が多かった。一方シロテントビスジエダシヤク、クロエグリシヤチホコ、テングアツバのような珍品も飛来した。採集時間：午後7～9時。

参加者：遊学館関係者－阿部、岩崎、平峰、天満、保田の諸氏と筆者。

一般参加者－鈴木氏家族 (4名)、田野氏父子 (2名)、宇根崎氏。(アルファベット順)

種名の後のカッコ内は採集数あるいは飛来の多少を示す。数の表示のないのは1頭。

*を付したのは、ブナの固有種ないしはブナと関係の深い種。

ハマキガ科

アカトビハマキ 幼虫はリンゴ、ナナカマド、ウグイスカグラの葉を食す

トビモンコハマキ

セウスイロハマキ 幼虫はハギ、イチゴ類の葉をたばねる

キモンヒメハマキ

イッシキヒメハマキ

アシプトヒメハマキ 幼虫はアラカシの葉をつづる

グミオオウスツマヒメハマキ 幼虫はグミの葉をつづる

ソトジロトガリヒメハマキ

クロネハイイロヒメハマキ 幼虫はナナカマドなどバラ科植物の葉を食す

ホソハマキガ科

ブドウホソハマキ 幼虫はキツタ、スイカズラなどの果実を食す

メイガ科

- クロスジノメイガ(2) 幼虫はキブシの葉を食す
ナシハマキマダラメイガ 幼虫はナシ、リンゴの葉を食す

カギバガ科

- エゾカギバ* (数頭) 幼虫はブナ、イヌブナなどの葉を食す
ウスギヌカギバ(2) 幼虫はクヌギ、コナラ、アラカシなどの葉を食す

トガリバガ科

- アヤトガリバ 食草はキイチゴ、カジイチゴなど

シャクガ科

- ウスアオシャク 幼虫の食樹はクスノキ科
ネグロウスベニナミシャク 幼虫はコナラの葉を食す
オオハガタナミシャク 幼虫はノブドウ、ツタなどブドウ科の葉を食す
フタテンナカジロナミシャク 幼虫はキイチゴの葉を食す
シロシタトビイロナミシャク 幼虫はアカマツの葉を食す
テンスジヒメナミシャク 幼虫はアカシデの葉を食す
フタホシシロエダシャク 幼虫はソメイヨシノの葉などを食す
ヤマトエダシャク 幼虫の食樹はウラジロガシ
ウスアオエダシャク(数頭) 幼虫はクヌギ、クリなどの葉を食す
ウスオビヒメエダシャク(数頭) 幼虫はカエデ類の葉を食す
ツマキエダシャク(数頭) 幼虫はイヌツゲ、ソヨゴなどモチノキ科の葉を食す
アカエダシャク 幼虫の食草としてリンゴが知られる
ルリモンエダシャク(多数) 多食性(コナラ、リンゴなど)
ナカウスエダシャク(多数) 多食性(マツ、ブナ、バラなど)
シロテントビスジエダシャク* 幼虫はブナの葉を食す
ウスクモエダシャク(多数) 幼虫はブナのほかに多くの樹種に(タデ、カエデ、カキ)につく
エグリツマエダシャク(多数) 幼虫はブナ、バラ、ツツジなどにつく
モンシロツマキリエダシャク(数頭) 幼虫はブナを含めヤナギ、バラ、ツツジなど多くの植物につく
ミスジツマキリエダシャク(多数) 幼虫はマツ、スギなどの葉を食す
ハガタムラサキエダシャク 幼虫はナシ、ハシドイにつく
ナカキエダシャク(多数) 幼虫はコナラ、キイチゴなどにつく

ウスキツバメエダシャク（多数） 多食性（イヌガヤ、ブナ、ツバキなど）

カレハガ科

ギンモンカレハ（数頭）

ヤママユガ科

オオミズアオ 多食性（バラ科、ブナ科など）

スズメガ科

ハネナガブドウスズメ 幼虫はヤブカラシ、ノブドウなどブドウ科の葉を食す

シャチホコガ科

バイバラシロシャチホコ（数頭） 幼虫はカバノキ科、ブナ科、バラ科の葉を食す

スズキシャチホコ（数頭） 幼虫はコナラなど *Quercus* 属の葉を食する

クロエグリシャチホコ 幼虫の食草はカエデ類やトチノキ

ドクガ科

ゴマフリドクガ 多食性（バラ、サクラ、ヒサカキなど）

ヒトリガ科

クロフシロヒトリ

ヤガ科

クロクモヤガ 幼虫はイタドリ、ギンギシなどの葉を食す

コウスチャヤガ（多数） 多食性

オオバコヤガ（多数） 幼虫はギンギシの葉を食す

ケンモンキリガ（古い個体が多数）

キンイロキリガ（古い個体が多数） 幼虫は各種の広葉樹の葉を食す

シロテンウスグロヨトウ 幼虫は各種の草本、枯葉も食す

アオスジアオリング（2） 幼虫はブナ、ミズナラの葉を食す

ギンボシリング 幼虫はツツジ科の葉を食す

フタホシコヤガ 頂上付近のササが食草になると思われる

シロフコヤガ 幼虫はイネ科の植物を食す

オオシロテンクチバ 幼虫はイチゴ類の葉を食す
ハガタクチバ
ウスモイロアツバ
テングアツバ 幼虫はアワブキ科の植物の葉を食す
ヤマガタアツバ (多数) 幼虫はウツギなどのかん木につく
(黒子 浩)

和泉葛城山灯火採集

1999年度 第二回 (6月12日)

天候: 晴 (薄雲あり)

気温: 21℃ (午後7時)

風: 微風

採集時間: 午後7時~9時15分

参加者: 25名 (遊学館関係者は黒子, 沢田,
天満, 平峰, 保田)

マガリガ科

ホソフタオビヒゲナガ

ウスベニヒゲナガ (多数)

ハマキガ科

アカトビハマキ

アトキハマキ 幼虫は多食性で広葉樹, 針葉樹の
葉を食す

トビモンコハマキ

クシヒゲムラサキハマキ 食草はソヨゴなど

ヤナギハマキ 幼虫はヤナギ類の葉をまく

フタスジクリイロハマキ 食草はツツジ類, ネジ
キ, アラカシなど

ウツギヒメハマキ ウツギ類の葉を束ねる

マルハキバガ科

クロモンベニマルハキバガ

イラガ科

アカイラガ (極めて多数) 多食性 (クヌギ,
サクラ, モミジなど)

クロシタアオイラガ 幼虫はクヌギ, ウメ, サク
ラ, カキなどの葉を食す

メイガ科

シロスジツトガ

ヨスジノメイガ 食草はムラサキシキブ

クロスジノメイガ 食草はキブシ

クロズノメイガ

マエアカスカシノメイガ 食草はネズミモチ, キ
ンモクセイなど

カギバガ科

ウスイロカギバ 食草はヤマウルシ

ヒトツメカギバ 食草はミズキ

トガリバガ科

ヒメウスベニトガリバ 幼虫はバラ科の葉を食す

ジャクガ科

カギシロスジアオジャク (多数) 食草はコナラ属
フトベニスジヒメジャク 食草はミズヒキ, イヌ
タデなど

タカオシロヒメシャク (多い)
アトスジグロナミシャク
オオハガタナミシャク 食草はブドウ科
キイロナミシャク 幼虫はシソ科の葉を食す
フタホシシロエダシャク 幼虫はサクラ類の葉を食す
マエキオエダシャク 食草はモチノキ科 (イヌツゲ, ソヨゴなど)
ウスオビヒメエダシャク 幼虫はカエデ類の葉を食す
ハグルマエダシャク 食草はモチノキ科 (イヌツゲ, ソヨゴなど)
ゴマダラシロエダシャク 食草はクスノキ科 (アオモジなど)
ナカウスエダシャク 多食性 (マツ, ブナ, バラ, ツツジなど)
マツオオエダシャク (極めて多数)
ハミスジエダシャク 多食性 (コナラ, アカメガワシワ, ミズキ)
ヒロバウスアオエダシャク (多数)
ヒロオビオオエダシャク 食草はクスノキ科 (ダシコウバイなど)
シロスジオオエダシャク 食草はクスノキ科
ウスクモエダシャク 多食性 (ブナ, タデ, クスノキ, カエデ)
サラサエダシャク 多食性 (オニグルミ, コナラ, トチノキなど)
エグリツマエダシャク 多食性 (ブナ, バラ, ツバキなど)
モンシロツマキリエダシャク 多食性 (ヤナギ, カバノキ, ブナ)
ミスジツマキリエダシャク 幼虫は針葉樹 (マツ, スギなど) の葉を食す

ムラサキエダシャク 多食性 (バラ, ブナ, ヤナギなど)
ツマキリエダシャク
ウスキツバメエダシャク 多食性 (イヌガヤ, ブナ, スイカズラ)
コガタツバメエダシャク 多食性 (ヤナギ, ブナ, ツバキなど)

フタオガ科

キンモンガ 食草はリョウブ

カレハガ科

タケカレハ (数頭) 食草はタケ, ササ, ススキなど

カイコガ科

オオクワゴモドキ (2) 食草はカエデ類

シャチホコガ科

ブナアオシャチホコ* (多数) 幼虫はブナに依存
バイバラシロシャチホコ (多数)

ホソバシャチホコ 食草はクスノキ, コナラ, カシ類

スズキシャチホコ (2)

ドクガ科

ゴマフリドクガ

ヒトリガ科

ムジホソバ (多数)

キマエホソバ (多数)

ハガタバニコケガ

カクモンヒトリ 多食性 (クワ, サクラ, ナシなど)

スジモンヒトリ 多食性(クワ, ケヤキ, サクラ
など)

ヤガ科

キバラケンモン 多食性(ヒサカキ, タチバナモ
ドキ, シャシャンボなど)

スギタニアオケンモン(数頭)

クロクモヤガ

オオバコヤガ(多数)

ハイイロキシタヤガ(多数)

フタスジヨトウ(2)

ケンモンキリガ

キンイロキリガ 幼虫は各種の広葉樹の葉を食す

ホソバミドリヨトウ

シロモンオビヨトウ

ヤマトホソヤガ

アオスジアオリンガ 食草はブナ, ミズナラ

フタホシコヤガ(数頭)

ニセシロフコヤガ

プライヤキリバ 食草はアラカシ, コナラ, クヌ
ギ. 成虫は洞穴中で越夏休眠

シロテンクチバ

ハガタクチバ

ヤマガタアツバ 幼虫はウツギ, マルバウツギな
どにつく

ハンダロアツバ 幼虫はヤマツツジ, ウメなどに
つく

キイロアツバ あまり多い種ではないが, 頂上付
近ではかなり発生する

(黒子 浩)

和泉葛城山灯火採集

1999年度 第三回(7月17日)

天候:曇

気温:やや高く, 湿度高し.

風:無風

採集時間:午後7~9時

参加者:32名(遊学館関係者は岩崎, 天満,
上久保, 保田)

ハマキガ科

アカトビハマキ

クロシオハマキ 幼虫はクサギ, ツバキなどの葉
をまく

ニセウスギンスジキハマキ

モトキハマキ 幼虫はコナラの葉をまく

ツマベニヒメハマキ 幼虫はホウノキの葉をまく

オオサザナミヒメハマキ 幼虫はクヌギの葉をつ
づる

コクリオビクロヒメハマキ

オオナミモンマダラハマキ

マルハキバガ科

クロカギヒラタマルハキバガ

ネズミエグリヒラタマルハキバガ

キバガ科

オオフサキバガ 幼虫はクヌギ, コナラの葉をま
く

イラガ科

ナシイラガ(多数) 多食性(カキ, ナシ, サク
ラ, ヤナギなど)

アカイラガ(多数)

ヒロズイラガ 食草はカエデ、クマシデなど

メイガ科

シロテンキノメイガ

マエアカスカシノメイガ

ヒメセスジノメイガ 寒地の種、幼虫はタケの葉
をつづる

カギバガ科

ウスギヌカギバ 食草はクヌギ、コナラ、アラカシ

シャクガ科

フタホシシロエダシャク

ウスオビヒメエダシャク

ハグルマエダシャク

クロフオオシロエダシャク

ウスクモエダシャク

ツマキリウスキエダシャク 食草はエゴノキ

ウスキツバメエダシャク

スズメガ科

クチバスズメ 食草はクリ、クヌギ、コナラ、カ
シ類

シャチホコガ科

キシヤチホコ 幼虫はササ類の葉を食す

ニトベシャチホコ 幼虫はカマツカにつく

ヒトリガ科

ムジホソバ

アカスジシロコケガ 幼虫は地衣類を食す

ヤガ科

オオカバスジャガ 幼虫はギンギシの葉を食す

モンシロヤガ 多食性

キシタミドリヤガ

シロホシキシタヨトウ 幼虫はササ類を食す

ナカジロキシタヨトウ

シロテンウスグロヨトウ

スジシロコヤガ 幼虫はササ類を食す

クロシオキシタバ

マエテンアツバ 幼虫はネムノキを食す

(黒子 浩)

和泉葛城山灯火採集

1999年度 第四回(8月14日)

天候：曇、薄暮時にはガスが薄くかかっていた
が、やがて麓の家の灯が見えるようにな
った。

気温：午後6時には24℃であったが、採集開始
時刻には 22℃になった。

風：微風ないしは無風

採集時間：午後6時45分～8時45分

参加者：22名(遊学館関係者は黒子、沢田、
天満、上久保、保田)

ハマキガ科

ヨモギネムシガ 幼虫はヨモギの茎下部や根に潜
入

イラガ科

テングイラガ(極めて多数) 幼虫はクヌギの葉
を食す

クロシタアオイラガ 幼虫はクヌギ、サクラ、カ
キなどの葉を食す

メイガ科

- コガタシロモンメイガ (数頭)
ハナダカノメイガ (数頭)
キンスジノメイガ (数頭)
ヨスジノメイガ (数頭)
ホソバソトグロキノメイガ (2♂) 極めて珍しい種
シロテンキノメイガ (多数)
キバラノメイガ 幼虫はクズの葉をつづる
シロハラノメイガ (数頭)
マエアカスカシノメイガ (極めて多数)
モンキクロノメイガ (多数)
モンシロルリノメイガ (多数) 食草はウツギ
ヘリアカキノメイガ 少ない種
ウスオビトガリメイガ

シャクガ科

- カギシロスジアオシャク
ベニスジヒメシャク 食草はミゾソバ、イヌタデ、イタドリの葉
ビロードナミシャク 食草はヤマアジサイの葉
ウスオビヒメエダシャク (極めて多数)
食草はカエデ類の葉
ウラキトガリエダシャク (数頭)
ウスジロエダシャク 多食性 (ヤナギ、ブナ、カエデなど)
ハラゲチビエダシャク 食草はコナラの葉
ウスイロオオエダシャク 食草はマユミ、マサキ、ツルウメモドキなど
ウスクモエダシャク (数頭)
サラサエダシャク (多数)
ツマキリウスキエダシャク
ハガタムラサキエダシャク

モミジツマキリエダシャク (数頭)

食草はアカシデの葉
ナカキエダシャク (多数) 食草はコナラ、キイチゴなど

フタオガ科

- キスジシロフタオ 幼虫はヒメユズリハの葉を食すとされる

カレハガ科

- タケカレハ 幼虫はササ類の葉を食す

スズメガ科

- シモフリスズメ 食草はシソ、モクセイなど
サザナミスズメ 食草はモクセイ科 (ネズミモチ、モクセイ)
クルマスズメ 幼虫はノブドウ、ツタ、ノリウツギの葉を食す

シャチホコガ科

- ブナアオシャチホコ
シロシャチホコ
ホソバシャチホコ
スズキシャチホコ
ツマジロシャチホコ 幼虫はイヌシデの葉を食す
ハガタエグリシャチホコ (多数) 食草はクマシデ、サワグルミ、ケヤキなど
ヒナシャチホコ 食草はヤマナラシ、ポプラ

ドクガ科

- シロオビドクガ (1♀)
クロモンドクガ (♀のみ多数) 幼虫はハシバミ、アサダ、バラの葉を食す

ヤガ科

シロフクロケンモン (多数) だいたい少ない種類である

アミメケンモン (数頭)

ウンモンキノコヨトウ (数頭) 食草は樹皮上の地衣

タマナヤガ 農作物の害虫として有名

シロホシキシタヨトウ 幼虫はササ類の葉を食す

マエキリンガ 幼虫はイヌシデの葉を食す

ツマトビコヤガ (多数)

ウスベニコヤガ

キモンコヤガ (多数)

ウスシロフコヤガ 幼虫はイネ科の葉を食す

モンキコヤガ 幼虫は枯葉を食す

クロシオキシタバ 食草はウバメガシ

シラフクチバ

ハガタクチバ

ヤマガタアツバ (極めて多数)

アイモンアツバ 幼虫はアカソの葉を食す

ソトウスグロアツバ (多数) 幼虫は枯葉を食す

ハナマガリアツバ

ミスジアツバ

キイロアツバ (多数)

(黒子 浩)

和泉葛城山灯火採集

1999年度 第五回 (9月11日)

天候: 薄曇

気温: 大阪の最高気温33.0℃, 最低気温25.7℃

風: 無風

採集時間: 午後6時15分~8時40分

参加者: 10名 (遊学館関係者は沢田, 天満, 上久保, 保田)

ハマキガ科

アカトビハマキ

ウストビハマキ 食草はバラ科, ヤナギ科, マツ科など

イラガ科

テングイラガ 幼虫はサクラ, キイチゴなど

メイガ科

ハナダカノメイガ

ウスムラサキノメイガ

ヨスジノメイガ (多数) 食草はムラサキシキブ

シロテンキノメイガ (多数)

オオキノメイガ 食草はボブラ

マエアカスカシノメイガ 食草はイボタノキ, ネズミモチなど

マメノメイガ 幼虫はササゲ, アズキの花とサヤを食す

ヘリアカキンノメイガ (2)

ウスオビトガリメイガ

カギバガ科

エゾカギバ 幼虫はブナ, ツノハシバミなどの葉を食す

トガリバガ科

ヒメウスベニトガリバ

オオマエベニトガリバ 食草はサクラ, ナナカマド

シャクガ科

オオアヤシャク (多数) 幼虫はコブシ, トチノ
キの葉を食す

カギシロスジアオシャク

ヘリジロヨツメアオシャク 寒地のガ, 幼虫の食
草はコナラ

ギンスジアオシャク 食草はクサイチゴ (葉)

キアミメナミシャク

キイロナミシャク

ヒメマダラエダシャク 食草はツルウメモドキ,
クロズル

クロスジシロエダジャク 食草はエゴノキ, ハク
ウンボク

クロクモエダシャク 食草はヒノキ

フタヤマエダシャク 食草はアカマツ

マツオオエダシャク (多数) 食草はマツ類, キ
イチゴ, コナラ

エグリズマエダシャク 食草はブナ, バラ, ミズ
キ, ツツジなど

ヒトリガ科

ムジホソバ 幼虫は地衣類

キベリネズミホソバ

ヨツボシホソバ (多数) 食草は地衣類

カクモンヒトリ 食草はサクラ, クワなど, 多く
の植物

ヤガ科

スギタニアオケンモン

ウンモンキノコヨトウ 食草は樹皮上の地衣類

オオカバスジャガ

ニセタマナヤガ

アカフヤガ 食草はフキ

シロモンヤガ 多食性

キシタミドリヤガ (多数)

フタテンキノコヨトウ

シロホシキシタヨトウ 食草はタケ類

ホソバミドリヨトウ (多数)

モクメヨトウ

シロテンウスグロヨトウ 食草は草本類

ヒメサビスジヨトウ 食草は草本類, 枯葉

オオウスツマカラスヨトウ (多数)

ヤマトホソヤガ

ネジロコヤガ

ウスシロフコヤガ 食草はイネ科

スジシロコヤガ (多数) 食草はササ類

ウスアオモンコヤガ

イチジクキンウワバ 多食性

クロシオキシタバ (1♂, 2♀) 食草はウバメガシ
ムクゲコノハ 食草はクヌギ, クリ, オニグルミ
など

ハガタクチバ (多数)

ウスモイロアツバ

ヤマガタアツバ 食草はウツギ類

ソトウスグロアツバ (多数) 幼虫は枯葉を食す

ハナマガリアツバ

オオアカマエアツバ

トラガ科

ベニモントラガ

(黒子 浩)

和泉葛城山灯火採集

1999年度 第六回(10月24日)

天候：曇

気温：17℃のち15℃

風：微風

採集時間：5時45分～8時40分

参加者：15名(遊学館関係者は沢田, 天満,
保田)

シャクガ科

ナカウスエダシャク(極めて多数)

エグリツマエダシャク(多数)

ウスキツバメエダシャク

ヤガ科

コウスチャヤガ(多数)

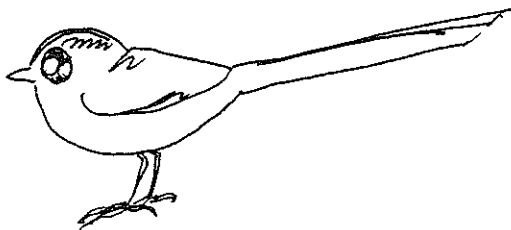
マエキヤガ 秋出現のガ

ハスモンヨトウ(数頭)

シロテンウスグロヨトウ

各回を通し、食草は文献によって現在分かっているものを挙げたので、葛城山に実際にはない植物が含まれていることもある。

(黒子 浩)



私の好きな鳥

「第11回全国トンボ市民サミット貝塚大会」が平成12年8月5日、6日にあり、下調べとし貝塚の池や川を見てまわり、トンボの生息と鳥について観察をしました。今回は鳥について報告します。

7月21日

・清児 二ツ池

カイツブリ 親2羽 ヒナ2羽

7月25日

・馬場 遍照寺から山側の小さな池

カワセミ 1羽

8月1日

・三ツ松 新池

アオサギ2羽 ゴイサギ3羽

8月2日

・名越(千石荘病院) ボタン池

アオサギ1羽 ゴイサギ大1羽

幼1羽

ハシボソガラス3羽 ダイサギ1羽

8月3日

・近木川、清児橋あたり

コチドリ 2羽

8月4日

・近木川、水間寺あたり

ゴイサギ1羽

8月5日

・蕎原小学校あたり

ハクセキレイ5羽 ウグイス声だけ

8月14日

・馬場 遍照寺から山側の池

アオサギ

8月15日

- ・三ツ松 新池
カイツブリ親2羽 子4羽
- ・三ツ松 小池
バン1羽
- 8月16日
- ・奥出橋あたり(馬場)
ハクセキレイ
- 8月17日
- ・名越(千石荘病院)牛神池
エナガ11羽 カワセミ1羽
- 8月19日
- ・名越 集源池
カワセミ1羽 ツバメ5羽 ダイサギ2羽
アオサギ1羽 コサギ1羽 カイツブリ2羽
- 8月20日
- ・名越(千石荘病院)ボタン池
アオサギ1羽 バン幼鳥1羽
- 8月21日
- ・名越(千石荘病院)牛神池
カワセミ1羽 メジロ2羽
- 8月22日
- ・近木川 清水大師堂あたり
ムクドリ6羽 ダイサギ2羽 カワセミ1羽
コサギ3羽 ゴイサギ大1羽 ゴイサギ幼1羽
キセキレイ4羽 イソシギ2羽
- 8月23日
- ・熊取?貝塚?名越千石荘付近にある大井谷池
(養殖池)
ハシブトガラス2羽 アオサギ2羽
コサギ3羽 ゴイサギ3羽 カイツブリ1羽
- 8月25日
- ・名越 鳥池
ゴイサギ幼1羽 ゴイサギ大1羽 セッカ
- アマサギ1羽 ダイサギ1羽
- ・三ツ松 新池
コゲラ1羽 バン幼鳥1羽 ゴイサギ2羽
ダイサギ1羽 カイツブリ親1羽 子4羽
カラス6羽
- ・三ツ松 小池
カワセミ幼鳥
- ・三ツ松 南池
カイツブリ 親2羽 子2羽
- 8月26日
- ・橋本第4プール横の池
カイツブリ幼鳥4羽 親2羽 コサギ1羽
- 8月28日
- ・麻生中 水をはった畑(空地)
コチドリ6羽
- ・清見 ニツ池
コサギ7羽
- ・清見 水をはった畑(空地)
コサギ3羽 ダイサギ1羽 シギ1羽
ケリ4羽
- 8月30日
- ・岸和田市 棚池
カイツブリ幼鳥2羽 成鳥2羽
- ・半田 池
カイツブリ成鳥2羽 カワセミ幼鳥1羽
- 9月3日
- ・蕎原
カワガラス1羽 カワセミ2羽
カシラダカ2羽
- 9月9日
- ・馬場の池
エナガ5羽 コゲラ1羽

(グリーンカレッジ 運営委員 黒田祥子)

近木川河口観察会

1999年9月25日秋晴れの中、毎年恒例となった行事「河口観察&カニ釣り」が、講師に貝類研究者の兎島格先生を迎えて行われました。一般参加者は34名、JICA（国際協力事業団）より6名の外国の方も参加し、国際色豊かになりました。

午前中行われた磯浜の観察会では、磯に降りる階段の隙間にアラレタマキビ、タマキビ、マルウズラタマキビガイ、イシダタミガイがみられました。大小の礫の転がる転石帯では、石にマガキやシマメノウフネガイが多数ついていたり、イボニシやそれが産卵した円筒状の卵のうもみられました。また、腐肉食性のアラムシロガイや足糸を使って固着するホトトギスガイもたくさんみつけました。その他近年、田んぼの厄介者で知られるスクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）もいました。テトラポットではカラマツガイやコウダカアオガイもみられました。兎島先生によると、この場所で54種もの生きた貝が確認されています。

貝以外ではタテジマイソギンチャク、クロガネイソギンチャクやケフサイソガニ、ヒライソガニ、スナガニ、オサガニ、ヤマトオサガニのカニ類やユビナガホンヤドカリ、ミミズハゼなどの内湾性の生物がみられました。

午後からは、ヨシ原の干潟で双眼鏡を使って、ハクセンシオマネキやヤマトオサガニの行動を観察しました。それから、お待ちかねのカニ釣り大会に移りました。大人も子供もタクワンのついた糸を片手に腹這いになったり、「このヨシじゃまやな」と言いながら、カニとのかげひきに奮闘していました。以下に大物を釣り上げた名人を発表致します。

●カニ釣り結果●

ハマガニ部門

（採集数：♂2、♀7）

- 第1位 ♀ 甲幅39mm Ms. Ubonwan
- 第2位 ♀ 甲幅38mm 鈴子 勝也
- 第2位 ♀ 甲幅38mm Ms. Ubonwan
- 第3位 ♀ 甲幅35mm 岡田 恵太郎

クロベンケイガニ部門

（採集数：♂18、♀14）

- 第1位 ♀ 甲幅37mm 鈴子 勝也
- 第2位 ♂ 甲幅36mm 田口 裕介
- 第3位 ♂ 甲幅35mm 西出 かずき

アシハラガニ部門

（採集数：♂5、♀2）

- 第1位 ♀ 甲幅29mm 岡田 恵太郎
- 第2位 ♂ 甲幅28mm 岡田 恵太郎
- 第3位 ♂ 甲幅27mm 新井 春美

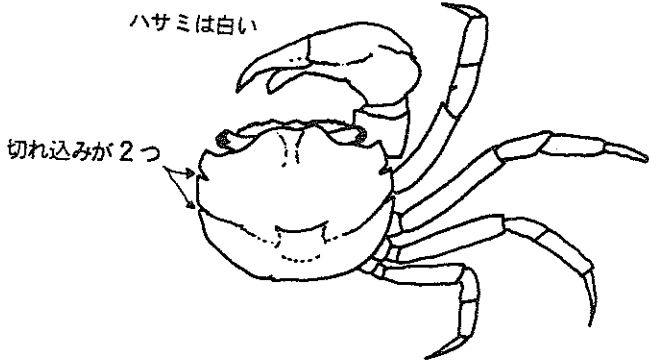
アカテガニ部門

（採集数：♀2）

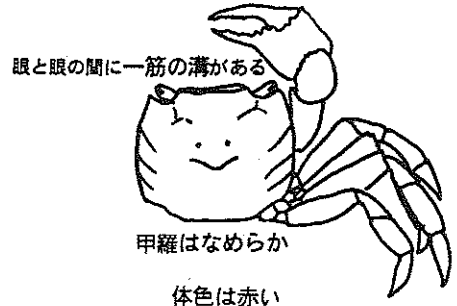
- 第1位 ♀ 甲幅22mm 田口 裕介
- 第2位 ♀ 甲幅21mm 新井 春美

（山田 浩二）

ヨシ原に生息するイワガニ類



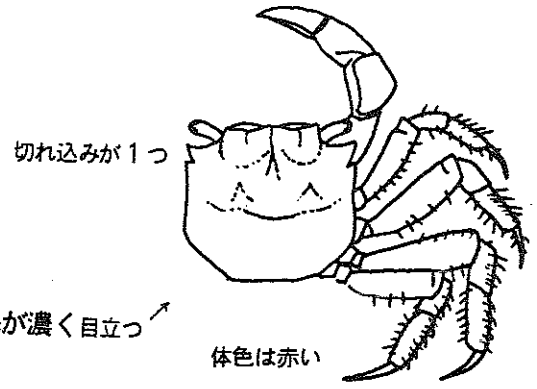
アシハラガニ



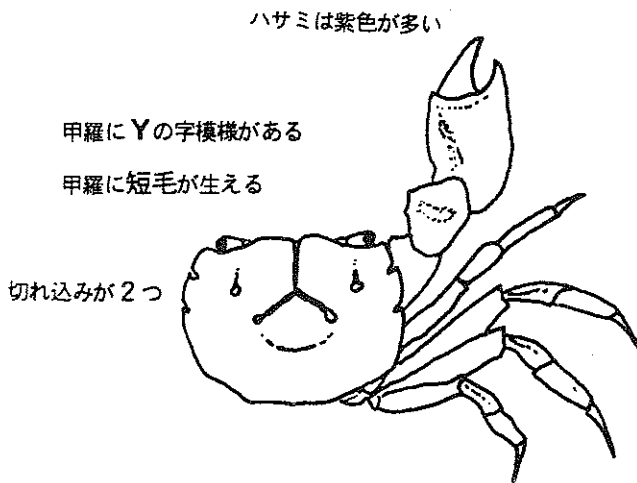
アカテガニ



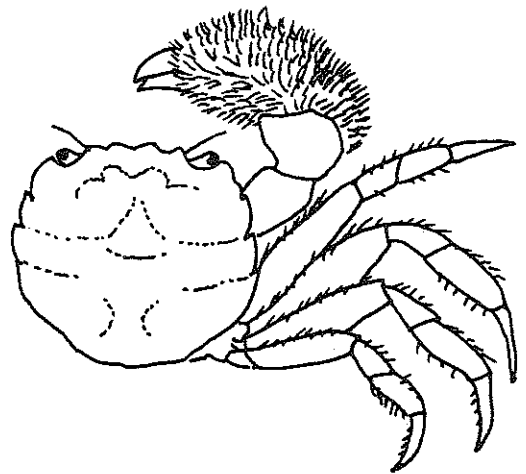
クロベンケイガニ



ベンケイガニ



ハマガニ



モクズガニ

by Hiramine & Yamada

千石荘採集記録

1999年7月10日

<アブラゼミのから>

溝の中にあった。

3cmぐらいの大きさで、クマゼミより透明だった。

<ウズラカメムシ>

草の中にいた。

アミを草の中に入れてゆらすと入った。

ウズラのような模様をしていた。

<キマワリ>

クヌギの立ち枯れの木にいた。

黒色をしていて、たてに線が入っていた。

つやがあった。

<タマムシ>

サクラの木の上に飛んでいた。

赤と緑色をしていた。

輝いていてとてもきれいだった。

<ヒラタクワガタ (♂)>

建物のコンクリートの上にいた。

大きさは6.3cmで黒色をしていた。

<ヒラタクワガタ>

木の割れ目にいた。

ピンセットでとった。

他にも2匹ほどいたが、奥に入ってしまった。

3.5cmだった。

<コクワガタ>

林の中の木の根元を掘ると出てきた。

3cmぐらいで小型だった。

<クビキリギス>

日当たりの良い草むらにはいるとはねていた。

2cmぐらいの大きさで黄緑色をしていた。

<カマキリの幼虫>

草の上にあった。

茶色をしていた。

たぶんコカマキリだと思う。

<コガネグモ>

建物の壁に1mぐらいの巣を作っていた。

黄色のシマがあった。

(南小学校5年 岡田 恵太郎)

鳴く虫の声を聞く

秋の恒例の行事として、9月8日に、名越の千石荘において、「秋の鳴く虫の声を聞く会」を開催しました。講師に、大阪市教育委員会の加納康嗣さんを迎え、10数名の市民の方と1匹の猫が参加しました。午後5時から、コオロギ類、キリギリス類、バッタ類の鳴き方や聴覚器官の位置の違いの話や、ハネナシコロギスの珍しい鳴き方、メスも鳴くサトクダマキモドキの話などを聞いた後、日が暮れて鳴き始めた虫たちの観察と採集を行いました。アオマツムシ、マツムシ、カンタン、カヤヒバリの鳴き声がよく聞かれました。加納さんは、声も聞き姿も見たカヤヒバリを採集できなかったことをたいそう悔しがっていました。加納さんが名張の自宅から持参されたクツワムシを参加者に「鳴き声がうるさいけど、よかったら持って帰って下さい」と言って進呈した2個体のうちの1個体は、次の日早々に遊学館に返却されていました。以下に、当日確認された直翅類のリストを報告します。

☆印は鳴き声を聞くことができた種を示しています。その他には、オニヤンマ、ナミアゲハ、マユタテアカネが採集されました。

バッタ目

コオロギ科

アオマツムシ ☆
マツムシ ☆
カンタン ☆
カヤヒバリ ☆
エンマコオロギ ☆
ツツレサセコオロギ ☆
モリオカメコオロギ ☆
クサヒバリ

カネタタキ科

カネタタキ ☆

キリギリス科

オナガササキリ ☆
ウマオイの一種 ☆
セスジツユムシ ☆
ツユムシ
サトクダマキモドキ
クビキリギス
ミドリササキリモドキ

バッタ科

ショウリョウバッタ
オンブバッタ
クルマバッタ
ショウリョウバッタモドキ
ツチイナゴ

カマキリ目

カマキリ科

オオカマキリ

(岩崎 拓)

自然遊学館だより NO.18

発行日 1999年(平成11年)11月11日

発行所 貝塚市立自然遊学館

〒597-0091二色3丁目26-1

編集 白木 江都子